

会長連絡会議を通じて行っていく。

Q 契約貸付地（スキー場）の契約見直しをかけるべきでは。

A 2年後に更新となるため、そのときに見直しを行う。

Q 厳しい予算の中では実施できなかった事業もあると思うが実施してほしい。ただ現状を見る限り、そのような説明があまり見られず、厳しい状況が十分に伝わっていないように思う。この点についてどのように考えているか。

A 主要事業については継続的なものが多く、終了は少ないかもしれない。財政運営指針に基づき、財政状況を考慮しながら主要事業の事務事業評価をさらに進め、役目を終えた事業については見直しを進めていく。

Q 湯沢町観光まちづくり機構運営補助金について毎年増えている。当初の話で

は減ると説明された。

A 補助が減るといった説明をしたことは承知していない。機構立ち上げの説明で機構が収益を上げること、町の補助金が減ることで、町の補助金が減るような一部説明があったが、その内容に誤解を招いたので、補助額の増については、人件費の見直しと観光統計のデジタル化に伴うものである。

Q 入湯税の見直しをどのように考えているのか。

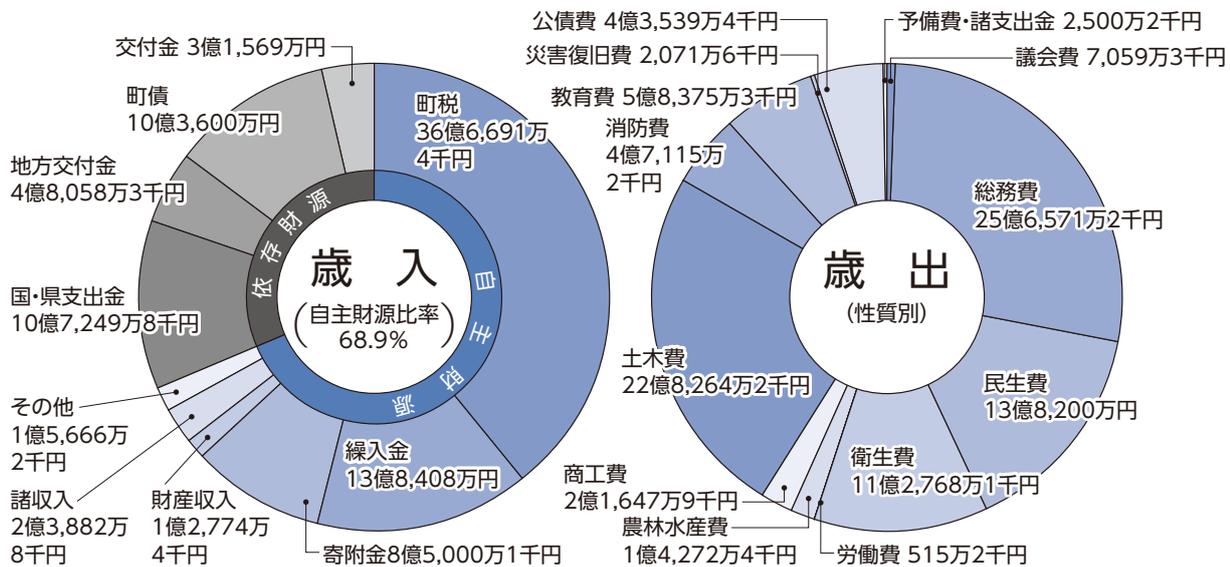
A 入湯税を含め、共同浴場の利用料の値上げを検討している。今後の予定は6月に条例改正し、12月1日から施行で考えている。

Q 水道料金の値上げは検討しているのか。

A 耐農化や老朽化に伴う更新費用が発生するため、水道の料金の値上げは必須であり、料金改定の見直しを検討していく。

令和7年度
一般会計予算

総額93億2,900万円



※「自主財源」は、町が自主的に集めることのできるお金です。この割合が高いほど自主的な運営がしやすくなると考えられます。

※「依存財源」は、国や県の考え方を反映させ、決まった額を受け取るお金のことです。

企業会計

※予算額は、収益的支出と資本的支出の合計

会計名	令和7年度当初予算
水道事業会計	3億8,284万1千円
下水道事業会計	14億453万3千円
病院事業会計	5億6,380万9千円

特別会計

会計名	令和7年度当初予算
国民健康保険特別会計	9億4,865万3千円
後期高齢者医療特別会計	1億4,698万4千円
介護保険特別会計	9億5,412万7千円